

④ 第4委員会

「便利な乗り物があるくらしやすいまちづくり」



それでは、第4委員会の意見を発表します。

第4委員会のテーマは、「便利な乗り物があるくらしやすいまちづくり」です。

このテーマについて考えるため、^{わたし}私たちは7月23日に名港工場の施設見学を行いました。

そこで、^{ぼく}私たちは、何種類もの部品があって、人々が安全快適に^{かいてき}過^すせるように何度も点検^{てんけん}することがわかりました。また、24年以上たった古い車両も大切に手入れをすれば今でも使えることがわかりました。

その後、^{わたし}私たちは、施設見学^{しせつ}をしてわかったことや思ったことをもとに、名古屋を「便利な乗り物があるくらしやすいまち」にするためには何をすればいいか考えました。

それでは、^{わたし}私たちが考えたことを順番に発表します。

○子ども議員

僕は、もう一度自分たちのまちを見詰め直して、車という便利な乗り物があるというのに事故が多発しています。ここ10年間ぐらい愛知県で事故の件数がとても多いです。そこで自分は、何が原因で、何がどうなって事故が起きるのかを調べて、名古屋市民一人一人が協力すればもっと暮らしやすいまちづくりができると思います。

○子ども議員

僕は、地下鉄に何台もの自転車を置けるスペースをつくったらよいと思います。そうすれば、外に出てきて、駅から目的地に着くまでの距離が長いとき、自転車で行けば楽だし、早く行けるからです。また、何台もの自転車が置けたら、いっぱいの人が自転車を持って地下鉄に乗れます。今でも自転車を乗せられる地下鉄はあります。でも、そういう地下鉄は多くはありません。駅から目的地に着く距離が長いので、時間がかかるから地下鉄をやめようと思っている人でも、駅から自転車に乗っていけばいいかなと思い、客がふえると思います。

○子ども議員

私は、施設見学で、電車の大きな車輪を完璧に点検する作業員さんが心に残りました。適当に点検すると、便利な乗り物であっても動かなかったり走行中に壊れたりして、とても危険なことになると思います。陰で動いてくれる人がいるからこそ、私たちは安心して乗り物に乗れるのだと思います。

だから、私たちは陰で働いている人たちを知って、乗り物を使う私たちはマナーを守り、優しい気持ちを持つということが、「便利な乗り物があるくらしやすいまち」につながると私は思いました。

○子ども議員

僕は、工場など点検する場所を変えるとよいと思います。その中でも、僕は工場の人のことを考えることにしました。工場は外とつながっていて、とても暑かったです。なので、そこに扉をつけるととても涼しくなると思います。すると、工場の人々の点検することも少し早くなり、電車が1車両でも多くなると、少しでも流れが速くなると思います。さらに、僕たちの感謝の意をあらわせると思います。

○子ども議員

僕は、今回の見学で、地下鉄から出てくる二酸化炭素にさんかたんその量が自家用車の約8分の1で地球に優しい乗り物だと知り、地下鉄をもっと利用しようと思いました。また、地下鉄の車体のペンキ塗りぬ、内部のモーターなどの点検てんけんは手作業が多いことを聞き、作業員の人たちに感謝しながら乗ろうと思いました。

このように、見学によって改めて地下鉄のすばらしさを知り、僕はもっと多くの人が見学をして、名古屋市には便利な乗り物があるということに興味きょうみを持てば、利用者も多くなり、エコにつながり、暮らしやすいまちづくりになると思います。

○子ども議員

僕は、電車の駅のホームのところで、線路に落ちると危あぶないので、まだついていないホームに小さな自動ドアをつけたらいいと思います。それと、車椅子いすの人にも乗れるように、ドア側の椅子いすをとって小さな空間をつくるといいと思います。

○子ども議員

^{ぼく}僕は、名港工場に見学に行きました。そこには、見たこともない大きいクレーンがあってびっくりしました。そのクレーンは18トン持ち上げられるそうです。

さて、便利な乗り物については、小型のバスや鉄道などを小型化した乗り物を町中に走らせたなら、より便利になると思います。なぜなら、^{じたく}自宅の近くまで路線が引けるので、多くの人が利用できるからです。^{しゅうり}修理するときでも小型だとコストもかからないし、早くできると思います。

○子ども議員

^{ぼく}僕は、名港工場へ見学に行きました。そこでは、安全運行のために車両の部品まで^{きび}厳しい^{けんさ}検査をしている様子を見ました。なぜ大きい乗り物なのに^{かんきょう}環境に^{やさ}優しいのか^{ぎもん}疑問に思いました。だから、お出かけするときは、安全で^{かんきょう}環境に^{やさ}優しいバスや地下鉄を使ったほうがいいと思います。みんなにバスや地下鉄を利用してもらうためには、公共^{しせつ}施設や駅にポスターを^は張ったり、^{かわむら}河村市長が^{えんぜつ}演説するときにはアピールした方がいいと思います。

○子ども議員

私は、名港工場の施設で、最低でも6日に1回は細かな点検、検査をしてくださっていることを知りました。そしてさらに、1カ月ごとに検査、8年に一度するとても大型な検査などもありました。それも、タイヤを一つ一つ取り出し、ペイントしたり、速度に合わせて何回もタイヤを回転させたりと、とても手間暇かかったものでした。施設の方々は、私たちの安全を守るためにしてくださっているとわかりました。私たち市民はこのことをよく理解し、きれいに正しく使うことで、便利で暮らしやすいものになると思いました。

○子ども議員

私が施設見学を通して印象に残ったことは、電車の点検を6日に1回も行っていることです。私たちの身近にある乗り物が人の命を乗せているので、安全に、そして快適に過ごす工夫をしていることに驚き、見学を通して初めて知りました。また、電車を使うと車より8分の1のCO₂の量しか使いません。だから、電車をよく使うようにすればCO₂を減らすことができます。私は、学校などで、私たちが行った工場に来てもらい、車よりCO₂が少ないことを理解してもらいたいです。そして、私たちが大人になったとき、電車を利用する人がふえる環境に優しいまちになると思います。

○子ども議員

僕は、市バス基幹2号系統の市役所から引山までをL R Tにすると
※
よいと思います。なぜかという、L R Tにすると、低床フロアなのでバスよりも振動や騒音が少ないため、周辺の住民が快適に暮らせるからです。また、バス停にはバスシェルターが整備されているので、専用レーンがある場所にレールを敷くだけで事業が始められると思います。さらに、バスよりも一度にたくさんの人が乗れるので、通勤や通学のラッシュ時に乗れない人が出ないためにも、L R Tにするとよいと思います。

(※L R Tとは、次世代型路面電車システムのことを言います。)

○子ども議員

僕は、名古屋を「便利な乗り物があるくらしやすいまち」にするには、まず、誰もが乗りやすくなるようなことが必要だと思いました。そのためには、車両の定員をふやしたり、小学校に入っていないような小さな子が喜ぶ車内にすることがいいと思います。また、バス、地下鉄の増便もいいと思います。市外から観光に来た人もわかりやすいように乗りかえ案内もするといいと思います。

○子ども議員

^{ぼく}僕は、名港工場を見学して、電車の運行には運転士と車掌^{しゃしょう}のほかにいろいろな人がいて、さまざまな工夫がされているのだと思いました。しかし、僕はもっと名古屋の乗り物が便利になると思うことが二つあります。

一つ目は、乗り入れです。一部、名鉄と乗り入れしていますが、少しです。乗り入れをすると、より便利に遠くへ行けます。二つ目は、バスターミナルを改札のすぐそこにつくってほしいということです。理由は、乗りかえ時間が少なくなるということもありますが、何よりもバリアフリーです。大きな駅はエレベーターがありますが、足の遅い^{おそ}お年寄りや車椅子^{いす}の人は移動に時間がかかります。しかし、目の前にバスターミナルがあると、地上に出る時間が省けるので、体力も使わずに楽に乗りおりできるからです。

この二つをさらに取り入れると、名古屋はもっと暮らしやすい土地になると思います。

^{わたし}私たち第4委員会は、このようなことが名古屋を「便利な乗り物がある暮らしやすいまち」にするために必要だと考えました。

これで、第4委員会の発表を終わります。



■ 岩本土木交通委員長の答弁

第4委員会の子ども議員の皆さん、ありがとうございます。ございました。限られた時間の中で、練習もなかなかできない中でも、しっかりと発言ができたと思います。今回、私もですし、一緒にサポートをさせていただいた田辺副委員長、浅井副委員長、そして指導主事の山本先生、皆さんが驚いていたのが、皆さんは本当に活発に議論ができる子ども議員の皆さんだったなと強く感じたことです。我々議員の中でも議員間討論というのはやっているのですが、皆さんは、自然とこの意見に対してはどうなんですかというようなことをしっかりと議論ができている、私は本当に驚かされました。委員長をやられた子ども委員長、そして副委員長の子ども副委員長、しっかりと第4委員会を、子ども議員をまとめていたと思います。そして、子ども議長、そして子ども副議長といった議長、副議長も輩出をした委員会だったと思います。



そして、今回、テーマとして「便利な乗り物があるくらしやすいまちづくり」ということで、皆さんとともに地下鉄の整備をしている名港工場の見学をさせていただきました。その中で皆さんがまず工場の広さに驚いたのと、部品の多さに驚いた。そこで、ふだん使っている地下鉄、便利な乗り物が皆さんの点検によって安全に命を運ぶ鉄道だということを感じていただき、そしてきょう発表をしていただきました。その中で、議員の皆さんの中から、やはりこれはそういうようないしっかりと整備を

していただいている皆さんの力があり作業をしていただいているので、
我々もしっかりルールを守って、マナーを守って乗らないといけないん
だなというようなことを、優しい気持ちになって乗らないといけないと
いうようなことを発表していただいたのは、私もすごくうれしく思いま
した。

それから、先ほどL R Tの話も出ましたし、自転車を地下鉄に乗せたり
だとか、あとは危険な場所、地下鉄に乗るときにスペースがあいてる
んじゃないかとか、またバリアフリーのお話なども子ども議員の皆さん
から御提案をいただきましたので、しっかりと我々も皆さんの意見を
承りまして、これから名古屋市政発展に向けてしっかりと取り組んで
いきたいと思っています。

本当にしっかり発表ができたと思います。ありがとうございました。

